川崎大師ロータリークラブ週報

例会場：大本山川崎大師平間寺信徒会館
例会日：毎週水曜日　PM12：30
事務局：〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F
Tel.044-277-7569　Fax.044-288-8550
URL http://kawasakidaishi-rc.com/　E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 42 期
会　長　竹中裕彦
副会長　坂東保則
幹　事　岩井茂次
ＳＡＡ　飯塚元明

第 2049 回（本年度　第 43 回）　例会　平成 27 年 6 月 3 日　　雨

●司会　　飯塚　元明　ＳＡＡ
●点鐘　　竹中　裕彦　会長
●斉唱　♪ソングリーダー　　石渡　利治　会員
「君が代」「奉仕の理想」

5 月 29 日に久保　榮弘　会員がご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

来訪ロータリアンの紹介　　矢野　清久　親睦委員長

本日来訪ロータリアンの方は御座いません。

今週の花言葉　　横山　俊夫　会員

薊（アザミ）　花言葉・・・「独立」
トゲのある葉が特徴のアザミ。スコットランドでは、１２６３年にノルウエー軍が侵攻した際、そのトゲが国土を守ったとされ、それ以来、スコットランドの国花になりました。花言葉もそれに由来するといわれます。

会員入会祝

宮山　光男	会員	１９９０年　６月　６日
竹田　正和	会員	２０００年　６月　７日
伊藤　佳子	会員	２００４年　６月　２日
渡部　潤	会員	２０１４年　６月１８日

会員誕生祝

長島　亨・竹中　裕彦・鈴木　昇二・大﨑　克之　各会員

会員奥様誕生祝

寺尾　巌	会員奥様	冨美代　様
水口　衛	会員奥様	史子　様
坂東　保則	会員奥様	裕子　様
竹内　祥晴	会員奥様	みちよ　様
中村　孝	会員奥様	知美　様

会長報告　　竹中　裕彦　会長

１．ネパール大地震の義援金が皆様のご協力により５万円になりました。

２．6 月 7～10 日ＲＩ年次大会 2015 年サンパウロが開催されます。

３．インターアクトクラブの今期海外研修報告書が届いております。12 月の冬休みに台北へ 2 泊 3 日研修でした。

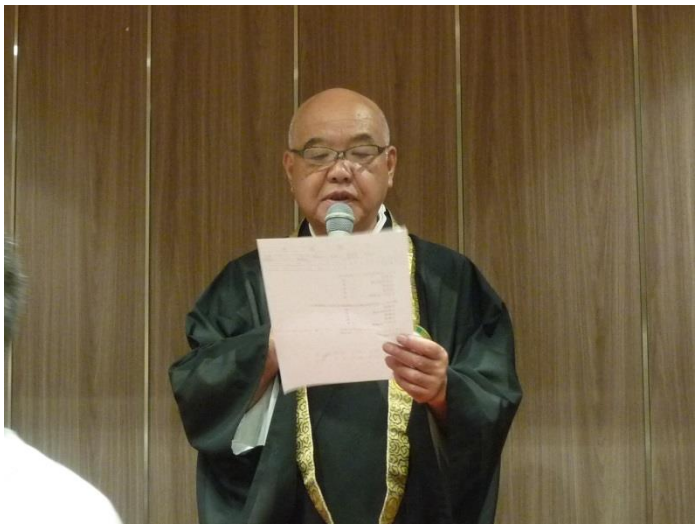
幹事報告　　岩井　茂次　幹事

１．ガバナー月信 6 月号が届いております。
　髙濵会員と嶋崎会員の記事が掲載されております。

２．6 月 11 日はクラブ事務局連絡会が予定されております
　これにより事務局は 14 時に業務終了致します。

３．他クラブ例会変更、週報が届いております。

出席報告　　出井　宏樹　出席委員



2049	回	62	49	35	14	71.43	%
2047	回	62	49	31	18	63.27	%
前々回の修正・メークアップ				10	修正出席率	83.67	%

メイクアップ

林　鶴・横山　俊夫・渡辺　冨士夫・石渡　勝朗
秦　琢二・沼田　直輝・大﨑　克之・猪狩　佳亮
金澤　康二・磯田　稔

各会員

委員会報告　　白石　浩司　同好会委員長

①6 月 10 日　西熱海ＧＣにてゴルフコンペを行います。
　皆さんの参加、おまちしております。

②6 月 7 日　大師球場にて市民大会があります。
　応援よろしくお願いします。

矢野　清久　親睦委員長

①本日、久保　榮弘　会員のお通夜のお手伝いをされる方は 5 時に妙蓮寺にお集まりください。
　なお、明日の告別式は 10 時半からとなっております。

②次週例会はリゾーピア熱海にて一泊移動となります。

大藪　善一　職業奉仕委員長

前回ご案内した、職業案内冊子の提出期限が 6 月 10 日となっております。まだ提出されていない会員の方は、提出お願い致します。

スマイルレポート(ニコニコボックス)

坂東　保則　副会長

松井　昭三　会員

久保　榮弘会員のご逝去、心よりご冥福をお祈り申し上げます。生前中は大変お世話になりました。

伊藤　佳子　会員

つたない卓話を聞いてください。つらい人生でした。
これからも元気を出します。

水口　衛　会員

妻に素敵な花をありがとうございました。
昇二さん、伊藤さん卓話宜しくお長居します。

小林　勇次　会員

竹中年度最後の卓話です。昇二さん伊藤さん宜しくお願い致します。
ファイヤーサイドＣグループ参加の皆様ありがとうございました。

白石　浩司　会員

皆さん元気ですか、竹中年度もいよいよ終わりの月になりましたね。おつかれです。

岩井　茂次　幹事

いよいよ６月を迎え、今年度も最後の１ヶ月となりました最後までよろしくお願いいたします。

竹中　裕彦　会長

１．久保　榮弘さんのご冥福をお祈りして
２．鈴木昇二さん、伊藤さん、卓話楽しみにしております。
３．草野球同好会の皆さん、市民大会頑張って下さい。
４．横山さんとなりのほほえましいカップルに説教攻撃しないでくださいね

本日のニコニコのテーマ

鈴木　昇二会員・伊藤　佳子会員

本日の卓話宜しくお願い致します。

牛山　裕子・髙濵　玲奈・坂東　保則・秦　琢二
布川　二三夫・中村　眞治・野沢　隆幸・炭谷　博功
大藪　善一・石渡　勝朗・遠藤　悦弘・船木　幸雄
中村　孝・出井　宏樹・横山　俊夫・黒澤　穣
竹田　正和　　各会員

卓話　　伊藤　佳子　会員

江戸時代の始めは砂地がいいと言う事で私共では桃とびわを作り、日本橋まで卸をしていました。明治 32 年頃、アメリカさんが持ってきた桃と日本従来の桃を接木して早生の水蜜桃の新種改良をしたそうです。江戸幕府をたてた頃より門前町が出来始め当店も四代将軍、家綱さんの頃に商売を始め、江戸時代は何里塚に榎を植えたそうで、御大師様の山門の所に大きな榎があって、その隣に店を出したので代々「榎本」市兵衛と名乗ったそうです。
父も母も明治中頃の生まれで兄も大正生まれです。後継ぎが皆戦死したり、私の上の姉も亡くなり、兄も陸軍士官学校を出て小倉の連隊で終戦になり、無事戻って来たのですが、とても料理屋の後継ぎにはなれません。
私が中学生の頃より後継ぎの教育を受け、華道、日舞、三味線、長唄、民謡、人文地理、商業簿記、栄養学、そろばん塾、オカラで寿司の握り方など、昭和 36 年に免許を取

り築地に仕入れ、出前や仕出しも最近迄やってきました。その後、三人の子供に恵まれ上の二人はそれぞれの道に進み、下の次男坊が後を継いでくれました。18 歳の頃より朝は仕入、すぐに大学へ行って帰ってくると調理場に入り、よく働いてくれた子が 39 歳の時に亡くなりました。
五年もたつのに、つらくて現在ふぬけに成っております。元気になるよう頑張ります。

卓話　　鈴木　昇二　会員

私は中学生の時に両親の離婚で、姉と３人の母子家庭で育てられました。　当時親戚の家に間借りし、お袋はそれまでほぼ専業主婦でしたが子供たちのために懸命に仕事をしていました。おかげさまで、裕福ではありませんが生活には困りませんでした。　今日は１８歳から今までの自分を段階的にお話いたします。

１８歳から２２歳までの『苦闘の時代』浪人生活をしたのですが、予備校に通ったり、少しアルバイトをしたり、夜中じゅう起きていてレコードを聴いたり・深夜のラジオのニッポン放送を聞いたり・本を読んだり・絵を描いたり、朝寝て昼過ぎに起きての生活が多かったと記憶しています。その頃よく金縛りにあっていました、そうです身体は動かさないで頭ばっかり使っていれば熟睡はできないで金縛りに取りつかれます。とにかく勉強はあまりしませんでしたが、そんな私を母は咎めませんでした。後半は大学に行かず、人生とは、真実とは、芸術とは、いかに生きるかとかばかり考えていました。生死についてとか自分が研ぎ澄まされた時代でした。この時代には、これからの人生の方向性を見つけることはできませんでしたが、後になって感じたことですが決して無駄な時間ではなかったと思っています。

２２歳から２７歳までの『新人類との出会いの時代』親戚の叔母さんにこのままでいいのかと言われ、２１歳の後半から勉強して２２歳で大学に入学しました。同期でも４歳違いでした。ここでもあまり勉強しないで、美術研究部に入り、年下の、北海道から広島の多くの新しい仲間を知りましたが、美術クラブとは言えクラブでは共同活動はほぼなく一人一人の創作活動でした。よって親しい仲間とは語り、酒を飲み、遊ぶ生活でした。このとき知り合えた人たちは今でも仲間で続いています。　そして、大学の後半からアルバイトしていた会社にそのまま勤めました。　２７歳から４０歳までの『仕事に喜びを感じる時代』その会社は姉がとついだ先の会社で、　私の前職の塗装関係の会社です。ここでは、川崎にある大手石油化学会社の中にある出張所の監督を任されました。その際、私一人に職人さん一人と事務のおばちゃんを預けられました。職人さんの仕事を確保しなくてはいけないのですが、アルバイト時代に監督見習いをしていましたので仕事はある程度分かっていたのですが、仕事をいただくには見積もりをしなくてはいけないのですが、やったことがないのです。そこで、事務所にあった見積もりを参考に自分なりに作成して、お客に提出し仕事をいただきました。私の第一号のお客さんで、今でもお付き合いがあります。後で気が付いたのですが、相場の３倍くらいの見積もりでした。（ぼったくりです）そんなことをしながら、客先の担当者も増え、部下も３、４人と増え、職人さんも多いときに１００人以上動員しました。基本的にこの仕事があっていたのですね、仕事のやり方も自分なりに改革し、私のところで会社全体の４０％近く売りあげたこともあります。なのに会社は正当な評価をしてくれませんでした。私自身は給料に不満はありませんでしたが、頑張ったときは部下に賞与をアップしてとお願いしましたが、何度となく期待に応えてくれませんでした。そのうち会社の将来性がないことを気が付きだし、自分は一生働く場所ではないと独立を決めました。

４１歳から昨年の６月までの『経営者として責務の時代』

未経験の妻を経理に、部下を一人３人で８畳一間の事務所から創業しました。会社を興すにあたり決めたことは
１．利益は経営者が独り占めにせず、社員に還元すること。
２．絶対に会社をつぶさないこと。
２点でした。会社を興したのは平成２年でバブルがはじけた直後で、周りからは一年もしないで倒産すると言われていました。そのことも発奮する好材料となりました。３年順調に売り上げ、利益も伸びていきました、３年目は１億５千万の売り上げで、４年目は１億２千万に落ち初めての赤字決算でした。５年目は持ち直しましたが２年続けて赤字だったらやめようと真剣に考えていました。その後２回ほど赤字決算がありましたが、売り上げも、利益も順調に伸び今日に至っております。創業当時から当社のモットーはどんな仕事も断らない、特に客先が困っているとき、緊急の時、予算がないときなどは特に力を入れる。それが、客先担当者の信頼を得、２倍３倍になって帰ってきました。私たちの業種は客先に信頼され、頼られることです。このことは、仕事だけに限ったことではなく、普段の生活に当てはまることだと信じています。　私は６年前ほどから、事業承継を考えていました。理由の１つは、子供がいないこと、いても継がせなかったかもしれませんが、又身内を雇用することも嫌いでした。２つ目は自分の限界かな？古い考え方、体質は会社にとって伸びしろがないこと。３つ目は自分の身体、気持ちが元気なうちに次のことに挑戦したいことでした。そして、この６月に達成しました。

これまでに学んだことは、人との信頼関係を築くことでしょうか、家族、友人、同僚、客先、アクター、ロータリアンなどなどです。信頼関係がないところには何も生まれないでしょう。信頼関係を築くには何が必要でしょうか？相手を尊重し好きになることではないですか？そして、夢、目標は必ず実現できるということです。　完璧とは言えませんが、ほぼ達成できたと思っています。

最後になりますが、これからが私の第２第３の人生だと思っています。それには、多くの方々との信頼関係を培い自身の未熟な点を改善し目標にチャレンジしていく事と、人生振り返って見ますと改めて自由に生きてきたと感じますが、さらにもっと自由に生きたい。

次回例会６月　17 日（水）
副会長・理事退任挨拶

中村　孝／増田　昌美／牛山　裕子／内田　省治
永松　慎太郎／竹中　裕彦／水口　衛／須山　文夫

スケジュール予定

6 月 24 日
会長退任挨拶